

埼玉新聞

知る技の創造

▶26◀

■ 良い床とは
ものをいいのは「人」で使う人の立場なり。良い床は
すぐ出来上がりたるものより、どういったものかを考える研
究の「もよだ」人」です。当 研究室。この時期の成績の一
たの論文「ひじですね。良い床 部門、2001年11月に日本
床性能評価指針」
はどの不満を感じないので、とここのまよひあつた。
それが良く出来ているのに、人が常に触れることがあり
氣がいいとは案外少ないから、床にはあらわせる性能が
求められ、それの中には相
思節の下、助手として大学
で仕事を始めて以来、床の良
い例えは、床を柔らかくす
かなか難しいので、使う人が
いい感じしたのがつれ
し悪しの研究に携わってしま
る。転がりも柔らかいの大
きながにならずにすんだ
が、「床性能評価指針」を参
考の技能が途絶える、といふ事
修得しようとする人が、目標
の一助となるような成績を回
照してただけではなくて、
黙じておられたのです。



つくる人、つかう人

たかはし・ひろき 順天堂大学体育学部卒。同大大学院修士課程修了後、東京工業大学工芸部建築学科助手を経て02年ものつづり大妻講師。08年より現職。博士(工学)。

「人が期待できるが、あまり
つかない」とは「もよだ」人。
一方「いい人」は「もよだ」
が、一般的に技能の修得には
現場での人手不足 後継者不
足が大変深刻な問題です。特
に後継者がいないときも あります。
100%満足できる」とはな
い後継者がいるときに あります。

■ 深刻な後継者不足
現場での人手不足 後継者不
足が大変深刻な問題です。特
に後継者がいるときに あります。
100%満足できる」とはな
い後継者がいるときに あります。

果の邊に自分の「感覚」の邊にあります。具体的には、

握り左肩材料を塗りせりたん
きの壁にかかる力や肩や腕の
筋肉の活動を同時に記録して、
熟練技能者と素人との差違を
肩の力を抜いて、最後にギョ
シ力を込めるよれ」と指
導されても、「のいい」肩の
力を抜けばいいのか、ギョシ
をはじめのいい力なのか、何
をするには感じ取ることほど
ありません。そこで修得により
する人は、自分の「感覚」
にできるまで、試行錯誤を繰り
返すことになり、結果として
時間を使います。

このようだ考え方の下、私た
ちの研究室では左肩技能を養
が、千里的道も一步からの例
え通り、まずは着実な成績を
積み重ねる人が大切と考え
ています。

2017年
(平成29年)

6月2日

金曜日

きょうは何の日
埼玉スタジアムでサッカーW
杯イングランド対スウェーデン戦開催(2002年)

